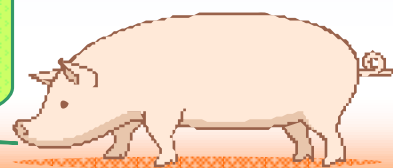


中国四国地域における 豚の生産性向上事例

配合飼料価格の上昇の影響を受けにくい、安定した経営を目指し、生産性の向上に取り組みましょう！



事例1 母豚の自家生産による

生産コストの低減と銘柄化への取り組み

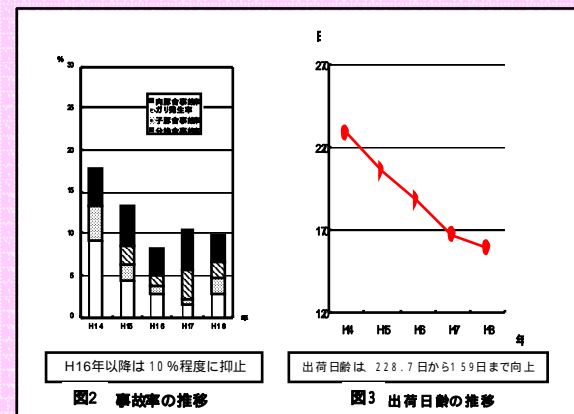
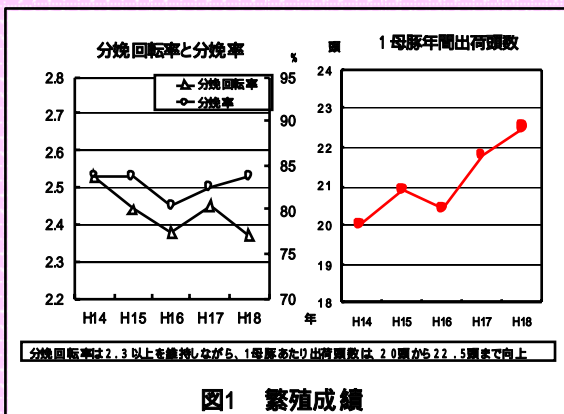
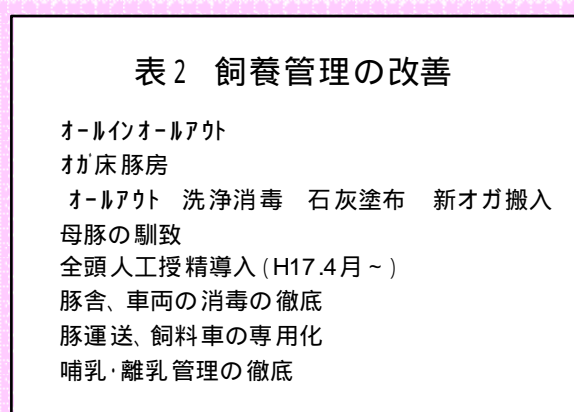
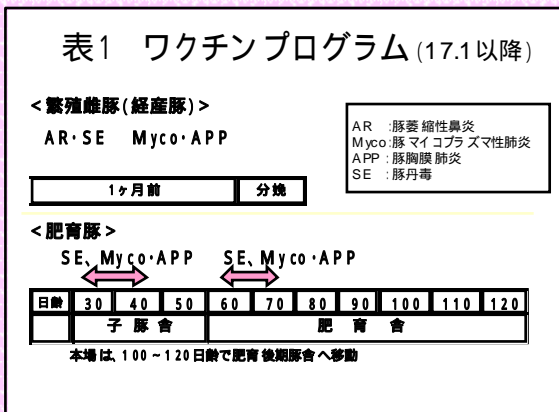
実施者	農事組合法人	経営形態	一貫経営
取り組み開始年	平成18年度	飼養頭数	母豚 650頭
取り組み概要	<ul style="list-style-type: none">・母豚の外部からの導入をやめ、自家生産することで、母豚導入に係る経費の低減を図る。また、このことで、外部からの病気の侵入を防ぎ、健康な子豚を生産する。・銘柄豚の「讃岐夢豚」や独自ブランドの銘柄豚等の出荷割合を増加させ収益性の向上を図る。・導入する原種豚は安定した産子数が望め、病気に対する抵抗性の強い種豚(ハイブリット豚)とした。		
取り組みの効果	<ul style="list-style-type: none">・母豚導入に係る経費の低減が期待できる。・導入する品種の特性により、産子数及び出荷頭数の増加が期待できる。・病気の抵抗力が強くなるため、事故率が低くなり、品質の良い肥育豚の生産ができる。		



事例2 ワクチンプログラムと

衛生管理体制の改善への取り組み

実施者	個人牧場	経営形態	一貫経営
取り組み開始年	平成15年度	飼養頭数	母豚 500頭
取り組み概要	<p>・肺炎や下痢の発生や、事故率の増加、出荷日齢の延長が課題であったため、これを改善するためワクチンプログラムの見直しとオールインオールアウトや人工授精の導入、消毒の徹底等、衛生管理体制の改善を図った。</p> <p>・呼吸器疾患ワクチンの種類や接種時期の検討を行った。</p>		
取り組みの効果	<p>・1母豚当たりの年間出荷頭数の向上(20頭 22.5頭)</p> <p>・事故率の低減 (約17% 10%)</p> <p>・荷日齢、農場要求率の向上 (228.7日 159日)</p>		



無駄防止、事故防止、生産効率向上、コスト削減等生産性向上のため、再度、豚舎内の状況を確認し、少しでも改善を図っていくことが大切です。



すぐできる取組事例



その1 〇農場 子豚のストレス軽減

方法

離乳豚舎の防寒対策として、ビニールシートで簡単なカーテンを作り隙間風を防ぐ。カーテンは自由に取り外しがきくようにする。



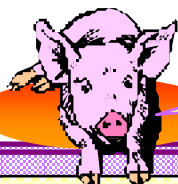
効果

子豚のストレスを軽減させることができる。

- ④ ストレスは発育のばらつきや病気の要因となるので、ストレスの原因を見つけ、できるだけ軽減する工夫が必要です。
- ④ 換気不良は呼吸器疾患の発症等、生産効率の低下の原因となります。季節や状況にあわせた適切な換気が必要です。
- ④ 飼養密度と呼吸器疾患は相関関係にあるので、飼養密度が過密とならないように注意が必要です。



すぐできる取組事例



その2 M農場 飼料ロスの低減

方
法

床材のスノコの網目から飼料がこぼれ落ちるのを防ぐため、給餌器の下に鉄板を敷く。



効
果

子豚が鉄板にこぼれた餌も食べるのでロスが減る。

- Ⓜこぼれてしまう飼料にも経費がかかっています。また、給餌は毎日のことです。毎日の少しずつのロス軽減も経費削減につながります。
- Ⓜ鉄板を敷くことができない構造の場合、複数回に分けて給与している事例もあります。
- Ⓜ鉄板は大きすぎると糞等で汚れます。大きさに気をつけましょう。



問い合わせ先



中国四国農政局生産経営流通部畜産課

TEL 086-224-4511(代)

社団法人 中央畜産会

TEL 03-3581-6710(直)